

14

14

Facsimile Sheet

■ DATE 平成20年5月9日 ■ PAGES 4枚 (本紙を含む)

■ TO [Redacted] 様

■ FAX

■ FROM 国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所 [Redacted]
〒441-1341 愛知県新城市杉山字大東57 <http://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>

■ FAX 0536-23-4408 ■ PHONE 0536-23-4387

MESSAGE

[Redacted] 様

前略

ご質問のありました平成19年度のボーリング調査結果及び調査箇所についての資料をお送りします。

草々

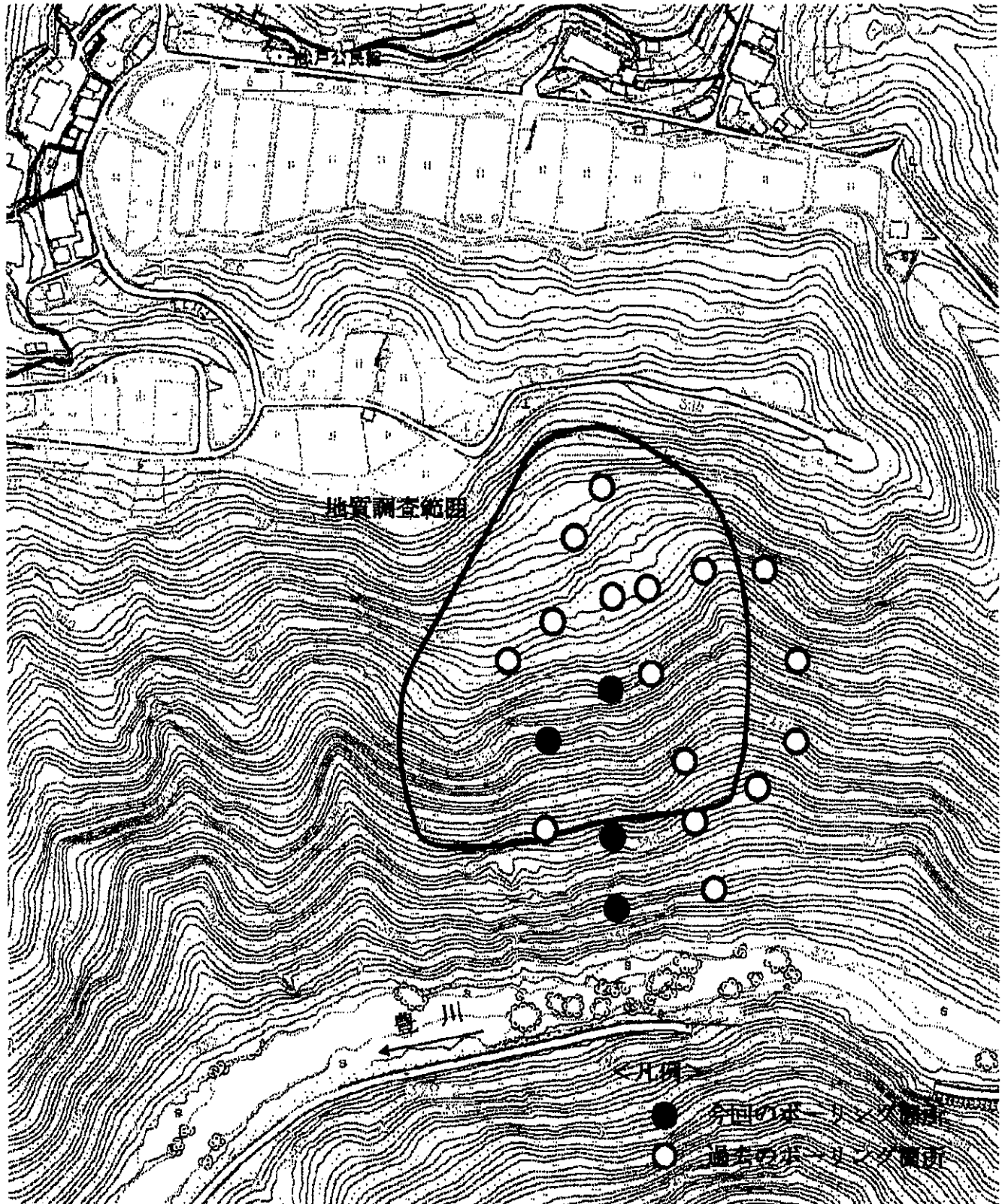
○ H19設楽ダム田口田尻地区ボーリング調査の結果

- ・ 今回の調査は、ダム完成後の湛水による貯水池斜面への影響把握のために実施した地質調査です。
- ・ 今回及び過去の地質調査結果から、本調査箇所（別添図面^{※1}参照）は凹状の段丘面（閃緑岩等からなる岩盤）に薄い堆積層が堆積していることがわかり、この地点での地すべりはないと判断しております。
^{※1}「H19設楽ダム田口田尻地区ボーリング調査 位置図」
- ・ なお、一般的な地すべり対策としては、シャフト杭工（深礎杭工）、鋼管杭工、アンカー工、押え盛土工、排土工などがあります。

○ H19設楽ダム右岸ボーリング調査の結果

- ・ これまで、ダム位置の検討のため地質調査を実施してきており、本調査地点（別添図面^{※2}参照）周辺の地質条件は上流側に比べると、あまり良好でないと確認されています。今回の調査結果を踏まえて、より地質条件の良いダム位置の検討を現在進めているところです。
^{※2}「H19設楽ダム右岸ボーリング調査 位置図」

H19設楽ダム右岸ボーリング調査 位置図



H19設楽ダム田口田尻地区ボーリング調査 位置図

